



# あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.35

R2.10.9

## 前期 終業式

9日（金）3時間目、終業式を行いました。早いもので、今年度も半分が終わりました。大きな事故やケガもなく、そして、新型コロナウイルスに感染する子どもがいなく、ホッとしています。これも、毎日の検温や、感染症予防等の取組を継続して行ってくれた保護者の皆さんのおかげと感謝しています。ありがとうございます。

後期もどうか、よろしくお願いします。

学年の代表として発表してくれた子どもたちの作文を紹介します。

### 「ぜんきのふりかえり」 年 ふじた

わたしがぜんきのべんきょうで1ばんがんばったことは水えいです。25メートルおよいだことが1ばんがんばったことです。



さん数のひっ算もとくいになったし、国語のかん字もいっぱい書けるようになって全校テストでは、さん数と国語、どちらもがんばりしようをとることができました。

うんどう会では、たくさんはしったことが楽しかったです。

町たんけんでは、ほいく園や、こうばんなどさまざまなところに行って、おしごとのことについてしつもんをして、たくさんべんきょうしてきました。

べんきょういがいでも、がんばったことがあります。それは、やきゅうです。わたしは、やきゅうのスポ少に入りました。まだ、しあいにはでていないけれど、れんしゅうでキャッチボールやバッティングをがんばってれんしゅうしています。わたしもはやく、しあいにててみたいですね。

ぜんきは、コロナで学校が休みになるなどして、たいへんでしたが、こうきも、コロナにまけないで、べんきょうやスポ少をがんばりたいと思います。

### 「前期の思い出」 年 高橋

前期の1番の思い出は、運動会です。その理由が、たくさんあります。



まず一つ目は、毎年やっている運動会とは、少しちがっていたからです。きょ年までは、白組と赤組だけだったけれど、今年は、黄組、白組、赤組の3組がありました。私は、赤組でした。みんなで協力して、2位になれて、うれしかったです。

二つ目は、持久走です。4、5、6年生は、千メートル走でした。グラウンドを5周、走りました。私は、一番最後を走っていましたが、歩かないで、あきらめずに走ることができました。苦しかったけれど、最後まで走りとおすことができて、本当に良かったと思いました。

三つ目は、色別のおうえん合戦をしたことです。大きな声で、はっきりと言うことができて、本番までに、ふりつけもしっかり覚えることができて、良かったです。

四つ目は、初めてやった、五色つな引きです。つな引きで、赤組は、2戦2勝でした。きょ年までとはちがうつな引きでしたが、赤組みんなの力を合わせて、一生けん命、引っばることができたので、良かったです。

最後に、色別リレーです。バトンを落とさないように受け取ることができました。わたすときも、相手の様子をよく見て、わたすことができました。走っているときは、少しはなされても、あきらめず、全力で走り切ることができたので、良かったです。

豊岡小学校最後の運動会は、苦しいことや楽しいこともありましたが、どれも楽しい思い出になりました。

来週から、いよいよ、4年生も後期です。後期にがんばりたいことは、全校漢字テストです。前期は、まちがいがたくさんあったので、百点がとれるように、ていねいに練習したいと思います。持久走で、あきらめずにがんばったように、練習をがんばります。

豊岡小学校は、今年で、閉校になってしましますが、友だちと仲良く助け合いながら、勉強も生活も、最後までがんばっていききたいと思います。

「前期にがんばったことと

後期にがんばりたいこと」  
年 藤澤



ぼくが前期にがんばったことは野球です。6年生最後の大会だったので「絶対勝つぞ」と思いながら試合をしました。打席に入ったときは「絶対打ってやる」と思い、キャッチャーをやっているときは「絶対後ろにそらさない」と思いながらプレーしました。その結果、集中ができて、サヨナラ勝ちで、優勝することができ、最高でした。でも、後ろにそらさないことができて、キャッチャーフライやとうるいをさすことができないし、ヒットを1本くらいしか打てなかったの、個人的にくやしい結果でした。このくやしさを中学校に行ってはらしたいです。そのために、今からこつこつ練習していきたいです。

野球の他にもがんばったことがあります。それは、6年生としてみんなを引っ張ったことです。そうじゃ、登校班の班長をやって、みんなにやってほしいことをどう伝えるか分からなくて大変でした。だけど、みんなといっしょに話していくうちにだんだん話しやすくなって、伝えるのが楽になりました。あと、運動会の応援合戦の練習では、6年生として引っ張って行けずに、「これじゃ負ける」と思いました。そこで、気持ちを入れ替えて、みんなより大きい声を出して楽しくやって、みんなの手本になるようにしてやれました。

ぼくの今後の課題は、みんなを引っ張っていくことです。それをこくふくするために、勉強などの時間に自分から発表したり、家の人からのめれたことをいやがらず積極的にやったりしていきたいです。それで、自信をつけて後期を過ごしたいです。

## パーフェクト賞

今年度前期の全校テスト（漢字テストと計算テスト）各5回が、全て100点だった人を紹介します。すごいことです！おめでとうございます！

○漢字テスト パーフェクト賞

- 1年 折原 舞、村上綺音
- 2年 門脇生輝
- 3年 藤田翔志愛、渡部漣斗
- 4年 草薙春陽、田口朱里
- 5年 加藤未来、村上佑輔
- 6年 松瀬風人

○計算テスト パーフェクト賞

- 1年 折原 舞、高橋圭偉、高橋柊人、村上健輔
- 2年 田口翔葵、門脇生輝
- 3年 藤田翔志愛
- 4年 中村有杜
- 5年 信田世喜、秩父みやび、村上佑輔、藤澤奈々
- 6年 松瀬風人



## 給食献立コンテスト

今年も、大仙市の小学5年生が給食メニューのアイデアを競う「第10回ふるさと給食献立コンテスト」が行われ、本校の子どもたちが次の賞を受賞しました。おめでとうございます！

◎教育長賞(第10回記念特別賞) 5年 藤澤奈々  
「杜仲豚と中仙エリンギのバターいため」

◎アイデア賞 5年 加藤未来  
「杜仲豚の他人丼」

◎努力賞 5年 熊谷恵瑚



## 子どもたちの活躍！

◎子ども読書通帳 百冊賞 5年 藤澤奈々  
**おめでとう！** 五十冊賞 1年 折原 舞

## 緑茶の寄贈がありました！

ハイナン農業協同組合さんから、緑茶の寄贈がありました。これは、緑茶成分カテキンによる免疫力アップと、緑茶を飲む習慣を身に付けてほしいという思いのもと、北海道・東北の全小学校へ緑茶ティーバッグを寄贈するとのことでした。

緑茶には、「頭がすっきり！」「虫歯と口臭予防」「食中毒予防」「ミネラルいっぱい」「美しさのヒケツ」「糖尿病予防」「ガン予防」「老化防止効果」などの健康効果があるようです。

今回の配付は1回目（各校に5g×290ティーバッグを2セット寄贈。2回目は12月に各校5g×100ティーバッグを1セット寄贈）で、一人に8ティーバッグを配付します。

どうか、ご家族でお楽しみください。

